

東京音楽大学リポジトリ

Tokyo College of Music Repository

相良匡俊氏寄贈シャンソン関連資料

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1255

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



Donné par Masatoshi Sagara Professeur

Matériaux associés à la chanson

相良匡俊氏寄贈

シャンソン関連資料



Tokyo college of music

東京音楽大学付属図書館

相良匡俊氏寄贈 シャンソン関連資料

館長挨拶

東京音楽大学付属図書館館長

坂崎則子

このたびご縁をいただき、相良匡俊先生のシャンソン関連蔵書を本学図書館にご寄贈賜りました。19世紀から20世紀にかけてのフランスの歴史をご専門とされた先生が、確かな鑑識眼で選び抜かれた書籍、楽譜、音源など、どれをとっても貴重なものばかりです。多方面の分野への研究可能性を含む方向性で収集されたこのコレクションは、演奏を通じてフランス音楽を研究する本学の学生たち、特に修士課程、博士課程の院生たちが、それぞれの研究において新たな視野を拓ける大きな力となります。また、本学以外の研究者の方々にとっても、このような集積は得難い資料となることでしょう。ご寄贈いただいたこのコレクションが、さらなる研究への推進力となって、その研究成果の中に、先生の御遺志が脈々と引き継がれていきますように。

(教授：音楽学)

感謝のことは

相良和子

東京音楽大学付属図書館様には、亡き主人の蔵書等を受け入れて下さいましたこと御礼申し上げます。

2013年7月24日に亡くなりました相良匡俊の人生最期の望みをかなえていただけましたこと、感謝でいっぱいでございます。

自宅療養しておりました主人は、亡くなる一週間前に、がん研への再入院を決め、同時に覚悟をいたしました。その時、「一番大事なシャンソン関係だけは、これだけ集めた人はいないから、まとめて寄贈してほしい」と申しました。退職後は、シャンソン関係の論文を書くことを夢見て、療養中も、楽譜等取り寄せており、生きがいでした。

今の時代、本の寄贈は難しいとわかっておりましたので、引き受けて下さる先はあるのかしらと、不安を覚えました。主人のたった一つの遺言でしたので、亡くなりましてから、法政大学の先生方や、西洋史関係の先生方、日仏会館の司書の方等、周りの方々をお願いいたしました。

そうした中で、学習院大学の福井憲彦先生、そして、東京音楽大学の豊永聡美先生のご尽力により、このたび東京音楽大学付属図書館様に、寄贈させていただくことができました。主人最期の、むずかしい希望がかなえられ、彼がどんなに喜んでいただけるかとうれしく、御礼申し上げるのみでございます。多くの皆様にご利用いただけたら、あちらの主人がどんなにか喜びることでしょう。お願い申し上げます。

寄贈にあたり、ご尽力下さいましたすべての皆様に御礼申し上げます。

ありがとうございました。

寄贈資料の概要

2013年に逝去された元法政大学教授相良匡俊氏の所蔵資料が、ご遺族より寄贈されました。相良氏はフランス近代史がご専門でしたがシャンソンへの造詣が深く、長年に亘り、19世紀から20世紀にかけてのシャンソンに関する資料を集めていらっしゃいました。寄贈資料によって、この時期に特徴的に現れた楽譜印刷の変遷を辿ることができます。

内訳

楽譜	289点
和書	51点
洋書	975点
録音資料	116点
計	1431点

2016年9月末現在

一部の資料は劣化が激しいため、デジタル化した資料を提供します。
すべて当館 OPAC (<https://opac.tokyo-ondai-lib.jp>) から検索が可能です（但し、一部非公開）。

利用案内

相良匡俊氏寄贈「シャンソン関連資料」は、東京音楽大学附属図書館利用規程に則って運用しています。

原則として資料は、館内利用です。利用方法等詳しくは図書館にお問い合わせください。

学外・一般の方の利用は事前に申し込みが必要です。

詳しくは東京音楽大学附属図書館のサイトをご覧ください。図書館までお問い合わせください。

相良匡俊氏寄贈 シャンソン関連資料

シャンソン関連資料紹介

さくらんぼの実るころ

『さくらんぼの実るころ』(Le temps des cerises) は、1866年にジャン＝バティスト・クレマン(Jean-Baptiste Clément, 1837-1903) が作詩し、その2年後にオペラ歌手のアントワヌ・ルナール(Antoine Renard, 1825-1872) が作曲したシャンソンです。

当初の歌詞は3番までで、20年後に4番が加えられたという説があります。

クレマンが「血の一週間」で戦っていた時、出会った看護師である勇敢な同士ルイズに捧げられています。

日本では1992年に公開されたスタジオジブリのアニメ映画『紅の豚』の挿入歌として加藤登紀子が演じるマダム・ジーナがこの曲をフランス語で歌いました。

相良氏も、よくこのシャンソンを口ずさんでいたそうです。

Le temps des cerises

The image shows three pages of the original manuscript for the song "Le Temps des Cerises". The left page is the title page, featuring a circular illustration of a man and a woman in a garden. The middle page contains the musical notation for the song, with lyrics in French. The right page contains the lyrics in French, numbered 1 through 4, corresponding to the verses of the song.

This page is from a Parisian songbook titled "Le Temps des Cerises". It features a circular illustration of a man and a woman in a garden, similar to the one on the left page of the manuscript. The page contains a list of names, likely the names of the performers or composers, and the title of the song. The page is numbered 18-29.

Le temps des cerises : pastorale /
musique de A. Renard ; paroles de J. B.
Clément

Paris : E. Benoit, [18-?]

1 voice score ([2] p.) ; 28 cm

請求記号 : XDM6.1/R29 (上),
XDM6.1/R29-5 (左)

中身は同じ版だが表紙が異なる楽譜。歌詞は4番まで記載されている。

シャンソン集

相良氏は、シャンソンの楽譜の印刷技法についての研究もされていました。コレクションの中から相良氏が「スター誕生と絵入り印刷物」*で解説した原稿（請求記号：XDM0.49/Sa18/1）を元に、特徴的な印刷技法の楽譜を紹介します（<>の部分が相良氏の実稿からの引用です）。

*2004年7月29日仙台市博物館ホールで行われた「絵入り本ワークショップ」での講演

Le chansonnier français



Le chansonnier français, ou, Recueil de chansons, ariettes, vaudevilles & autres couplets choisis, avec les airs notés à la fin de chaque recueil. 13. recueil

[Paris] : [s.n.] , [1761?]

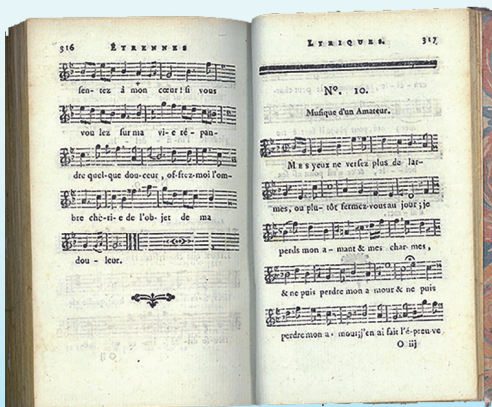
1 v. (various pagings) : music ; 17 cm

With: 14. recueil

請求記号：XDM3.94/C3639

< 1761年刊行のシャンソン集。手書き・銅版印刷楽譜の例。 >

Étrennes lyriques, anacréontiques, pour l'année 1786



Étrennes lyriques, anacréontiques, pour l'année 1786 : présentées à Madame, pour la sixieme fois, en décembre 1785

Paris : chez l'auteur , 1786

2, 4, 336 p. : ill., music ; 14 cm

請求記号：XDM3.94/Et72

< 1786年刊行のシャンソン集。活字印刷による楽譜の例。 >



352, 32 p. : ill., music ; 14 cm

請求記号: XDM3.94/F428-5

＜ 19 世紀前半に多い小型シャンソン集。社会主義系シャンソニエ、フェストーの作品集。手書き・石版画による楽譜の例。＞

Le père la victoire



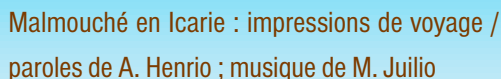
Le père la victoire : chanson sur l'air de la marche française / créé par Paulus à l'Eldorado ; paroles de Delormel et Garnier ; musique de Louis Ganne

Paris : Répertoire Paulus , [19-?]

1 voice score ([2] p.) ; 28 cm

請求記号: XDM6.1/G156-2

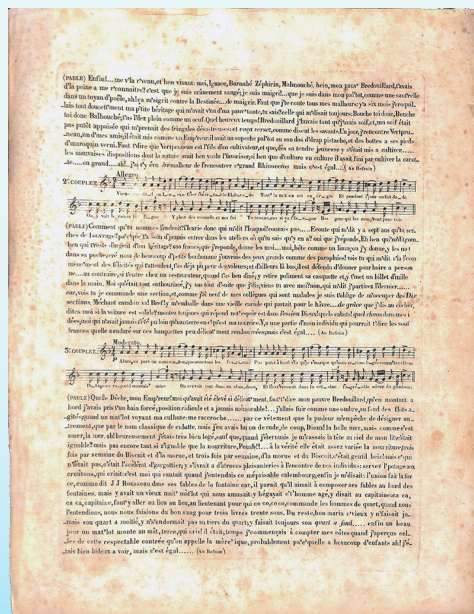
＜『戦勝おやじ』。軍楽隊のクラシックナンバーのメロディーを借りたシャンソン。彩色小型楽譜（プティ・フォルマ）の例。歌詞・楽譜・挿絵。挿絵は石版画、楽譜は銅版画。＞



1 voice score ([2] p.) ; 35 cm

請求記号: XDM6.1/J938

＜大型楽譜の例。歌詞・楽譜・挿絵。挿絵は石版画、楽譜は銅版画。＞

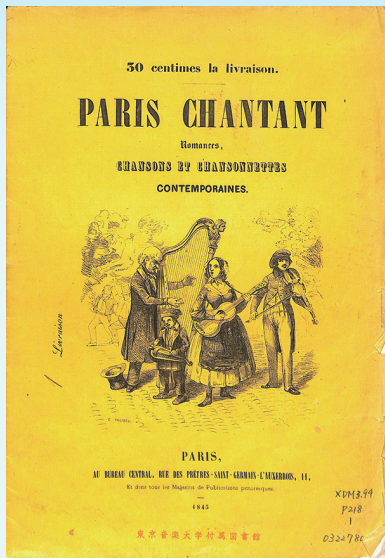


相良匡俊氏寄贈 シャンソン関連資料

音楽雑誌

コレクションの中から音楽雑誌を2点紹介します。<>の部分は、相良氏が「スター誕生と絵入り印刷物」で解説した原稿からの引用です。

Paris chantant



Paris chantant : romances, chansons et chansonnettes contemporaines, 1 livraison

Paris : Bureau central, 1845

12 p. : ill., music ; 27 cm

請求記号 : XDM3.94/P218/1

くもっとも初期のシャンソン愛好家向け雑誌。保証金納入を避けるため、定期的に刊行されたと思われる。実質的には逐次刊行物であるが、当時、逐次刊行物の出版は規制の対象とされ、保証金の支払いを要求された。これを避けるため、分冊形式による単行本の出版という形態をとったと見られる。>

Le mirliton



Le mirliton / directeur, Aristide Bruant

9e année, no 99

Paris : [Le Cabaret du Mirliton], 1893

8 p. : ill. ; 28 cm

請求記号 : XD772.35/B83/99

くシャ・ノワールの出身で、独自のキャバレーをもったアリストイッド・ブリュアンのお店、ル・ミルリトンの機関紙。1893年3月3日号。ブリュアンは出版活動に意欲的で、この新聞の他、自分の歌集、パリの下町風俗を特集する雑誌などを刊行した。>

絵入り新聞

コレクションの中から絵入り新聞を2点紹介します。シャンソン集同様、<>の部分は、相良氏が「スター誕生と絵入り印刷物」で解説した原稿の引用です。

L'éclipse



L'éclipse : journal hebdomadaire, no 88 (Aou. 1869) / directeur, F. Polo

[Paris] : [s.n.], 1869

4 p. : ill. ; 48 x 33 cm

請求記号 : XDM0.8DROM/Sa18-1

(資料劣化のため代替資料での提供)

<個人を題材にして風刺画を表紙に描いた1860年代の代表的な新聞『エクリプス』。1869年8月22日号。テレザを描く。>

Le courrier français

Le courrier français, no 20 (Mai 1891)

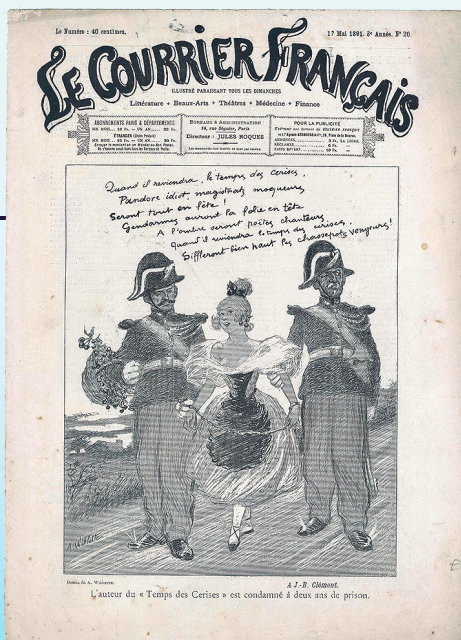
[Paris] : [s.n.], 1891

12 p. : ill. ; 41 cm

請求記号 : XDM0.8DROM/Sa18-1

(資料劣化のため代替資料での提供)

<演劇、歌謡などに関するニュースを専門とした『クリエ・フランセ』の1891年5月17日号。シャンソン作詞家で社会主義運動の指導者だったJ.B. クレマン逮捕を伝えるもの。>



相良匡俊氏について

1941 年 5 月 鳥取県鳥取市にて出生。

1961 年 4 月 東京大学教養学部入学。

1963 年 4 月 東京大学文学部に進学し、1965 年に卒業。東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専修課程を経て、博士課程に進学。

1971 年よりパリ第 1 大学（パンテオン＝ソルボンヌ校）第 3 博士課程へ留学。

1975 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科満期退学。

1975 年 4 月より法政大学第一教養部兼任講師に着任。1976 年 4 月法政大学第二教養部助教授、1983 年 11 月法政大学社会学部助教授を経て、1986 年 4 月より法政大学社会学部教授。

2012 年 3 月 退職。

専門分野は 19 世紀・20 世紀のフランスの歴史。

主な著書に『世界の歴史と文化・フランス』（共著、新潮社、1983 年）、M. シュヴァリエ『労働階級と危険な階級』（共訳、みすず書房、1993 年）、『歴史として、記憶として』（共著、御茶の水書房、2013 年）。『社会運動の人びと一転換期パリに生きる』が没後 2014 年に山川出版社から刊行された。

相良氏が遺した未発表の原稿『補遺』より

【今後の作業】

私にとっての課題は、19 世紀から 20 世紀にかけて生成するフランス社会の特質をどのようなものとして、またどのようにして捉えるかにある。（中略）

異なる角度からフランス社会の変容を観察したいと思い、流行歌の印刷媒体の様式の変化を追っている。（中略）

長いタイムスパンをとり、その枠のなかで制作された、はやりうたを記録した印刷物を時系列に沿って並べ、その変容を観察すること。現在わたくしが行っているのはそうした作業である。印刷手法の技術的变化、制作・頒布の法的条件の変更などは意外にも頻繁であり、印刷物を見て制作時期をほぼ特定することができる。そして 19 世紀初頭の“スマホ”大の粗悪な紙の詩歌集から、19 世紀後半のプティ・フォルマ（小型版楽譜）を経て 20 世紀初頭に出現する写真印刷を利用したシャンソン雑誌までの変遷をみることで、いわゆるシャンソンが国民的娯楽となる過程を追うことができる。

そしてこのプロセスを見ると、20 世紀前半の統一社会党の形成と類似する印象が感じられる。この印象を語る際に“大衆”という言葉を使いたくなるのだが、今の段階でそうしたストーリーを描くことは軽率であろう。

（この原稿は請求記号：XDM0.49/Sa18/5 で読むことができます）

参考文献

このパンフレット作成に際して使用した主な参考文献です。

蘆原英了『巴里のシャンソン』 白水社, 1956年
請求番号: M3.94/As35

永田文夫『世界の名曲とレコード シャンソン・カンツォーネ編』 誠文堂新光社, 1967年
請求番号: M3.9/N131

ノルベール・デュフルク『フランス音楽史』 遠山一行, 平島正郎, 戸口幸策訳
白水社, 1972年
請求番号: M2.35/D875

フランス・ヴェルニヤ, ジャック・シャルパントロー『シャンソン』 横山一雄訳
文庫クセジュ532 白水社, 1973年
請求番号: M3.94/V597

永田文夫『シャンソン 世界の名曲とレコード』 誠文堂新光社, 1984年
請求番号: M3.94/N131

相良匡俊『スターの誕生と絵入り印刷物』 (未出版), 2004年
請求番号: XDM0.49/Sa18/1

相良匡俊『文京区民大学「近代フランスの庶民文化」 : 第5講:大衆娯楽の成立』
(未出版), 2006年
請求番号: XDM0.49/Sa18/4

相良匡俊『補遺』 (未出版), 2013年
請求番号: XDM0.49/Sa18/5

『故相良匡俊先生著「社会運動の人びと：転換期パリに生きる」出版記念会』
(未出版), 2014年
請求番号: XDM0.49/Sa18/6



東京音楽大学附属図書館

相良匡俊氏寄贈シャンソン関連資料

2016年10月1日発行

協力：相良和子

編集・発行：東京音楽大学附属図書館

<http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/sagara/>

